

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年28週 (7月2週 7/11~7/17)
愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>
E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp
連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

今週の内容

トピックス

ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、手足口病、流行性角結膜炎、予防接種法施行令等の一部改正、腸管出血性大腸菌感染症
病原体検出情報
定点医療機関コメント
ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、A群溶血性レンサ球菌感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。
結核(33)、腸管出血性大腸菌感染症(6)、デング熱(1)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、ウイルス性肝炎(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)、急性脳炎(1)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、梅毒(6)、破傷風(1)、風しん(1)
定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

ヘルパンギーナ(図1)

28週の定点当たり報告数は4.29、27週525人 28週780人(1.49倍)です。

【参考ページ】豊橋市：ヘルパンギーナが流行しています(7月11日発表)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/secure/44545/H28herpangina1.pdf>

疾患別ウイルス検出状況(速報) <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

流行性耳下腺炎(図2)

28週の定点当たり報告数は0.70、27週123人 28週128人(1.04倍)です。

【参考ページ】<注目すべき感染症>流行性耳下腺炎(感染症発生動向調査週報/国立感染症研究所感染症疫学センター)

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2016/idwr2016-23.pdf>

手足口病

28週の定点当たり報告数は0.48、27週62人 28週87人(1.40倍)です。

流行性角結膜炎

28週の定点当たり報告数は0.80、27週30人 28週28人(0.93倍)です。

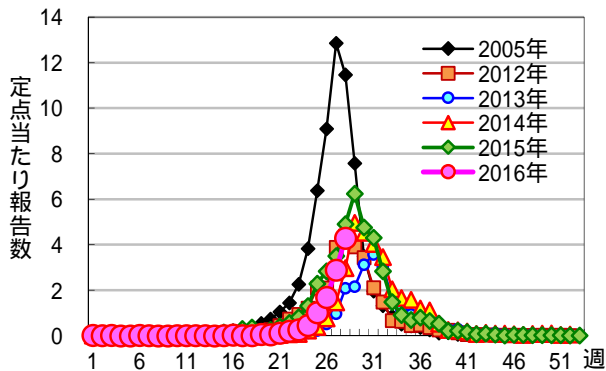


図1 ヘルパンギーナ

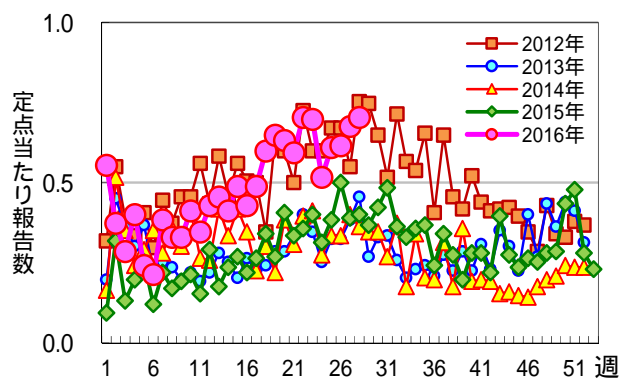


図2 流行性耳下腺炎

予防接種法施行令等の一部改正について

平成28年10月1日より定期予防接種(A類疾病)にB型肝炎が追加されます。対象者は1歳に至るまでの間にいる者(ただし、平成28年4月1日以後に生まれた者に限り)で、接種回数は3回です。

【参考ページ】予防接種法施行令の一部を改正する政令及び予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について(厚生労働省) <http://www.mhlw.go.jp/fi/le/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000128709.pdf>

腸管出血性大腸菌感染症(図3)

愛知県の2016年報告数(診断週別)は、7月20日現在50件(O157 36件、O26 10件、O103 2件、型不明 2件)、うち溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は1件です。

2015年の同時期(1~28週)報告数は43件、年間報告総数は98件(うちHUS発症例2件)でした。

【参考ページ】腸管出血性大腸菌 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4

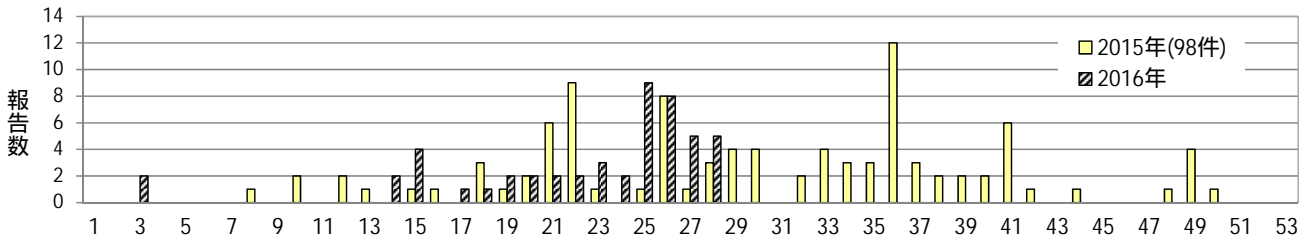


図3 週別腸管出血性大腸菌感染症報告数(2015年-2016年、2016年7月20日現在、診断週別)

病原体検出情報 2016年疾患別ウイルス検出速報 (2016年7月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ	** 麻疹・風疹
患者数	186	10	28	14	12	19	10	316	3(9)
CV-A6	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-B3	3	-	1	-	-	2	1	-	-
CV-B5	1	-	-	-	-	1	-	-	-
E-6	-	-	-	-	-	1	-	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	1	93	(2)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	10	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	51	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	1	98	(1)
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	1(2)
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	23	-	-	-	-	-	1	-	-
Rota A G3	4	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	4	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	5	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	92	-	-	-	-	2	3	-	-
AstV	12	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	2	-	-	3	-	1	-	1	-
Ad-3	4	-	-	4	-	-	-	-	-
Ad-4	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-19	-	-	-	-	1	-	-	-	-
Ad-41	8	-	-	-	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
検査中	20	8	25	6	1	8	-	8	0(0)
陰性	34	1	2	1	9	7	4	54	2(3)

*インフルエンザは2015/2016シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同(山形系統)、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

2歳男 サルモネラO7群
 10か月女 カンピロバクター検出
 5歳 マイコプラズマ肺炎
 【一宮市 あさのこどもクリニック】
 久しぶりに水痘1名ありました。
 マイコプラズマ増えています。
 肺炎になっている児が多いです。
 【犬山市 武内医院】
 手足口病 4名
 ヘルパンギーナ含めて夏かぜ疾患が多いです。
 【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ムンプス大流行です。
 ヘルパンギーナも多発
 水痘も続発中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
 ヘルパンギーナが多かったです。
 【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
 溶連菌、ヘルパンギーナ、ムンプスが見られます。
 【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

ヘルパンギーナ急増しました。
 アデノウイルス感染症も多くみられました。
 (咽頭結膜熱 5歳男)
 【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
 ヘルパンギーナ、溶連菌、伝染性紅斑、
 おたふくが流行しています。
 【豊明市 こども元気クリニック】
 ムンプス髄膜炎、非ムンプス無菌性髄膜炎を
 散見します。
 【春日井市 春日井市民病院】
 3歳男 病原性大腸菌O25
 12歳男 マイコプラズマ気管支炎
 溶連菌多数
 ヘルパンギーナ急増
 【春日井市 朝宮こどもクリニック】

ヒトメタニューモウイルス、マイコプラズマ
 肺炎が続いています。

【小牧市 志水こどもクリニック】
 ヒトメタニューモが目立ちます。
 【小牧市 小牧市民病院】
 感染性胃腸炎散発
 マイコプラズマ肺炎 2名(30歳男、47歳女)
 【南知多町 医療法人大岩医院】
 ヘルパンギーナがやや多かったです。
 アデノウイルス感染症 1名(1歳)
 カンピロバクター腸炎 1名(14歳)
 【東海市 もしもしこどもクリニック】
 ヘルパンギーナが流行してきています。
 【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+) 4歳女
 マイコプラズマ肺炎 3歳男 7歳男
 【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
 マイコプラズマ核酸 7歳女
 【豊田市 すくすくこどもクリニック】
 6歳女 病原性大腸菌O6(+)VT(-)
 10歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)
 【岡崎市 にいのみ小児科】
 溶連菌感染症目立ちます。
 【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
 マイコプラズマ 12歳女
 夏かぜと思われる高熱多し。
 【岡崎市 花田こどもクリニック】

マイコプラズマ肺炎 8歳男 3歳女
 【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
 手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎が
 目立ちます。

【碧南市 永井小児クリニック】
 ヘルパンギーナ 11名
 【知立市 宮谷クリニック】
 マイコプラズマ肺炎 8歳男
 【幸田町 とみた小児科】
 15歳男 カンピロバクター腸炎
 【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

ヘルパンギーナ流行中
 ヒトメタニューモウイルス感染症が時にいます。
 【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
 ヒトメタニューモウイルス4名みられた。
 【新城市 新城市民病院】

百日咳 13歳男
 【豊川市 総合青山病院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年7月20日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun160215.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年28週報告数			2016年総計(1～28週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	9	4		393	99	97
豊田市				36	7	11
豊橋市	1	1		35	6	11
岡崎市				30	10	8
一宮	1	1		78	29	17
瀬戸				67	13	21
半田	3		1	29	7	12
春日井	5	1	2	64	11	19
豊川				20	6	5
津島	8	4	1	56	10	23
西尾				16	3	3
江南				25	5	2
新城				6	3	2
知多	1	1		46	11	16
清須	2	1		18	9	1
衣浦東部	3		2	59	7	12
合計	33	13	6	978	236	260

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	23歳	男	7/8	7/9	7/13	O157、VT2(+)
2	名古屋市	52歳	女	-/-	7/16	7/16	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
3	名古屋市	21歳	女	7/15	7/16	7/16	O157、VT2(+)
4	一宮	35歳	女	-/-	7/8	7/8	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
5	春日井	55歳	女	-/-	7/8	7/12	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
6	江南	45歳	男	7/4	7/5	7/11	O26、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	男	デング熱	フィリピン

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	春日井	57歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	53歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

ウイルス性肝炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	予防接種歴	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	52歳	男	B型	無	性的接触	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	豊橋市	33歳	男	手術部位感染	国内	無
2	衣浦東部	69歳	男	以前からの保菌	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	7歳	男	病原体不明	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	知多	74歳	女	古典型

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	女	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	72歳	男	早期顕症	不明	国内
4	名古屋市	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	一宮	33歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	衣浦東部	26歳	男	早期顕症	性的接触	国内

破傷風（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	68歳	男	有	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	35歳	男	無	国内

